



第12号

高知県立高知国際中学校だより

高知県立高知国際中学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

高知国際中のIBプログラムについて

本校が実施するIBプログラムでの学びについて、数回にわたって紹介していきます。

MYP
MYPコーディネーター：伊芸 美紀

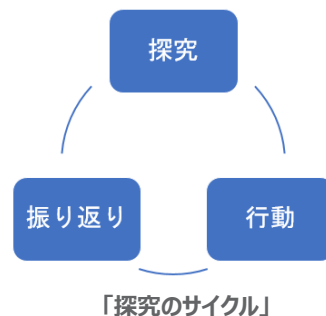
高知国際中学校は、教育活動の柱にグローバル教育を位置付け、国際バカロレア（以下、IB）のプログラムを取り入れています。ミドル イヤーズ プログラム（以下、MYP）は、IBにおける11歳から16歳の生徒を対象にした中等教育プログラムです。

IBは、その使命に示されているように「より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成」を目的としており、それは、教育基本法に示された日本の教育の目的とも合致し、目指す姿は同じと言えます。では、どこが違うのでしょうか。

IBプログラムの特徴は授業設計と厳格な評価の仕組みにあり、学習と評価を一体的に行うことで、より確実に目指す姿へつなげていきます。

MYPの授業は、ユニットごとに探究テーマを決め、図のような探究のサイクルを回していきます。授業者は、そのユニットで付けるべき力を総括的に評価するために適切な評価課題を課します。その際必ず課題別の評価基準（ルーブリック）を一緒に示し、目標の達成に向け、適切なフィードバック（形成的評価）を繰り返しながら、目指す姿に近づけていきます。

IBの教育を通して、生徒たちが、より主体的、探究的に自分の人生を切り拓く力を付けてほしいと願っています。



English

英語科主任：スミス ジェイソン

本校の英語の授業に足を踏み入ると、まず生徒が英語で英語を学んでいることに気づきます。

グローバルな人材になるための第一歩を踏み出すためには、英語を聞き、話し、読み、書く時間が重要です。学習する単元は、「探究テーマ」を中心に設計されています。英語の語彙や文法を習熟するにつれて、生徒が自分の住んでいる世界の理解や知識を深める事が出来ます。

また、LE(Learning in English)という授業では、1・2年生が英語で様々なテーマやトピックについて探究しています。LEでは、既に身に付けた英語力を生かして自分が住んでいる地域について学習が出来ます。このLEでの学びは、総合的な学習の時間に位置付けられ、3年生より取り組む「パーソナルプロジェクト(PP)」に繋がっています。

能力

「学び方が分かる！」
生徒は「学ぶ方法」を学びます。
教室内でも外でも、自分で自分の英語力を向上させることができます。

やる気

「私なら出来る！」
授業は楽しく、やりがいがあり、インタラクティブで、生徒が中心となるように工夫されています。
「間違いは学ぶプロセスだ」と安心して学べる場をつっています。

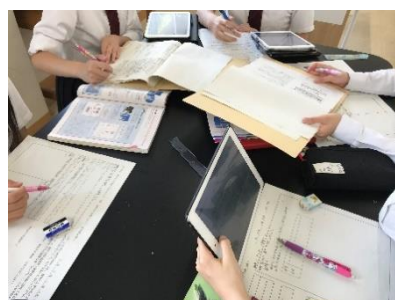
自己責任

「自分の行動に責任を持つ！」
定期的な目標設定と毎日の振り返りを通じて、生徒は自分の学習に責任を持ち、自分の将来を設計する力を促進します。

本校の理科では、実生活における問題や、社会の状況の変化などから、今の学習がどのようにつながっているのかについて探究しています。

1年生の1学期には主に植物と動物の分類やそれぞれの特徴などについて学習しています。これは、植物や動物が地球に誕生してきてから現代に至るまで、どのような変化に適応してきたかを学び、そこから、変化してきた植物や動物を、我々人間はどのように利用しているのかについて探究しています。歴史や芸術ともかかわりがある学習になっています。

2年生の1学期には主に視覚・聴覚について学習しています。最近発達してきたVR、ARなどの科学技術がどのような仕組みで我々に見えるのか。また、その技術により社会はどのように変化していくかについて考えます。その中で、物理分野の視点から、カメラや楽器の作成を通じて光や音の性質について学ぶとともに、生物分野からも豚の目の解剖を通じて、目の構造がどのようになっており、どのような仕組みで視覚として認識しているのかの理解も進めます。この探究は、我々が世界をどのようにして知るかという知識の根幹に関わる問いに迫るものです。



教科書やiPadを活用しての調査

3年生の1学期には主に化学変化について学習しています。世の中には化学反応が使用されている例が多々あり、それはどのような仕組みで反応が起こっているのか、原子や分子レベルで理解できるように探究します。最終的には、一人一人でサイエンスショーを実施し、科学の面白さを広げていくためのパフォーマンス課題を行う予定です。この探究は、原子のように数の限られた要素であっても、その関係性や組み合わせ次第で、驚くほど多様で豊かな世界を創造しうることを学びます。

本校の理科では、実社会の問題や、社会における理科の応用などの学習を通して、概念について理解するような内容を組み込んでいます。学習が内容理解だけで終わるのではなく、それがどのようにつながっているのかについて、教科を学習する意義について考えてもらいたいです。

よりよい環境のために

よりよい教育環境のために、学校にはいろいろな仕事があります。今回は、理科実験室・準備室と学校図書館司書室で活躍する3人を紹介します。

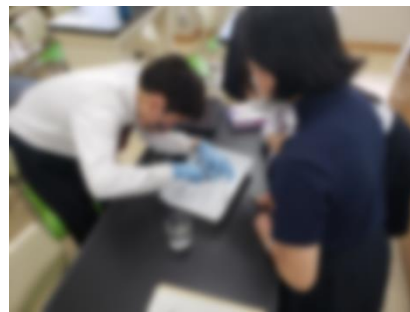
岡林 正幸（事務補助：理科）

今年度より理科の事務補助として主に実験の準備やお手伝いをしています。時々、実験中にお邪魔していますのでよろしくお願いします。平成9年度から7年間、高知西高校で教員をしていたのでこの学校は懐かしいです。ただ、当時と異なり校舎もきれいになり昔と全く異なっています。当時は体育館が新築され、唯一体育館が昔のままです。

高知国際中学校では実験が多くありますが、理科では経験することが大切ですので勉強や実験など、ともに頑張りましょう。

今回はこの紙面をいただいたので、私がどうして理科に興味を持ったかを紹介します。

もともと子どもの時から山や川などの自然の中で遊んでいました。小学校のときは学校から帰ると、川に魚を釣りに行ったり山で小鳥を追えたりしていました。中学校になるとプラモデルに興味をもちあらゆるジャンルの模型を作成していました。そして高校になると簡単な電気での道具（今はあまり使用されていませんがトランジスタラジオなど）の作成などに夢中になりました。高校に入り自分の将来を考えたとき、最初はカッコよく商社マンとか薬剤師とかを思いましたが、昔からの自然好きという観点で農獣医学部に進学しました。そして大学卒業後は環境に関する検査技師を行っていました。しかし、ここで大きな壁に直面しました。つまり、自分が環境に対する検査を行ってもそれは単なるデータとしてだけのものです。環境を良くするためにはとても自分だけの力ではどうにもならないということです。社会や地域全体で考えなくてはならないことです。そのため、この現実を知ってもらう事ができる仕事はと考えると、理科教員になり中学生や高校生にこの現状を知ってもらうことにより、将来それぞれの仕事の中できっと環境に関する仕事につく人物が出てくるのではと思い教師という仕事につきました。



「豚の目の解剖」実験の様子



整頓された理科準備室

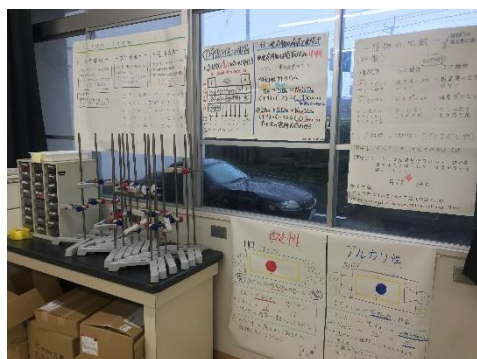
理科という教科は皆さまにとっては大変な科目かもしれませんが、しかし人間は生き物です。さまざまな考えを持った人がいますが、いつまでも忘れてはいけないのは「探究心」です。何がどうなっているか原点を探らなくてはならない時は多くあります。やはり人生はいつまでも勉強であるとはよく言ったものだと今でも感じています。

これから時々、私たちの身の回りにあるごく普通だと思っていることは実は大変なことであるということを紹介できたらと思います。

竹島 啓子（事務補助：理科）

昨年9月より理科学務補助として働いています。そして、この高知国際中学校の理科の授業、特に理科実験においては、生徒一人一人の自由度に対して又その恵まれた環境に対して『驚き』の一言しかありません。

進学校においては知識の詰め込みのため、理科の授業はほぼ座学。設備の整った学校でも殆どが教員による演示実験です。実験は、準備・実験・片付けと多くの時間を費やします。



理科室内に掲示している成果物のポスター

私もまた、高校では理科コース、大学では化学を専攻しましたが、高校卒業まで試験管さへもろくに触れておらず、特に記憶に残る実験もなしでした（時代が違うと言われれば それまですぐですが・・・）。大学生になって初めて実験課題が与えられた時、どのような装置を組み立てなければならないかわからず、幸い同級生にその道に長けている人がいて、ちらちら様子をうかがうふりをして実験方法を獲得していったことを思い出します。

この高知国際中学校は、中学1年生から、私が大学生になって初めて体験したことが出来るのです。十分に安全性を確保したうえでその課題に対する自由な発想による実験、どの器具も制限なしに使えます。また、試薬は消耗品のため、各自に最大限の使用量を決めたくて使用しています。自由な発想は時として私たち大人の常識の殻を破ります。若い芽は同じ一つの方向でなく、いろいろな方向に伸びることが出来ます。

実験レポートの提出期限が迫ってくると、生徒は始業前・昼休み・放課後に、確認のため、あるいはまた新たな考えを思いつき、さらなる思考のためと、実験室に足を運んできます。決して特殊な実験装置を置いてあるわけではなく、すべて基本的なものです。それらをどのように組み合わせどのような手順で行うか、実験の条件（温度や濃度）は、どのようにすればいいのか試行錯誤です（勿論 十分に下調べもします。）。

その柔軟な思考と恵まれた環境の中で try&try !

藤田 智子（実習助手：図書館）

学校司書を知っていますか。学校司書は、学校に勤務し、生徒・教職員・本をつなぐ図書館の専門職員です。膨大な数の本の中から、中学生や高校生に読んでもらいたい本を収集する管理的業務、そして、その本を図書だよりで紹介するなど、みなさんの読書活動を支援する広報活動、図書館で授業がある時は、先生と協力し、必要な資料を準備する授業支援など、仕事は多岐に渡ります。資料の使い方をアドバイスするために、みなさんの授業に参加することもあります。本に関する相談があれば、いつでも対応します。地道な作業と同時に、人と関わることが好きな人に向いている職業です。一人で全部の仕事をやっているわけではありません。本校図書館では司書のほかに、司書教諭や図書補助員が図書館運営にあたっています。図書委員の協力も欠かせません。特に、図書委員はカウンター当番、本のテーマ展示、図書委員だよりの発行の他、ビブリオバトルなどのイベントを企画するなど、みんなに親しんで利用してもらえる図書館づくりのために活動してくれています。

【施設紹介】

よく図書館は「知の拠点」という言葉で表現されますが、高知国際中学校・高等学校図書館は、みなさんの豊かな学びを支えるべく、ちょうど学校の中心、本館2階に位置しています。なんといっても特徴的なのはその構造で、出入口の扉は常に開放、校舎をつなぐ通路も兼ねることで、本を身近に感じ、知的好奇心を育み、本を介して交流が生まれる場としての機能を備えていることです。自習利用できるスタディコーナー、くつろいで読書をしたり、音楽ライブや文化部活動の発表の場として利用できるブラウジングスペースもあります。特徴は、扉がないことだけではなく、県内の公立学校のなかでも、最大規模の蔵書数を有しています。みなさんが利用するのは主に2階の閲覧フロアの本がほとんどだと思いますが、1階の書庫にも、文学全集、歴史書をはじ



靴を脱いでくつろぎながら読書できるスペース

め多くの蔵書があります。昨年度、電子化に取り組んだ結果、この4月からは、本の貸出がPC端末で迅速に、また、蔵書検索機能も便利に利用できるようになりました。

【IBから見た学校図書館】

学校図書館に置かれる本の種類は、学校の特色によって変化します。定番の基本図書は変わりませんが、工業高校であれば機械や電子工学といった、いわゆる専門図書の比重が大きくなります。中学生のみなさんは、高知西高校の図書館をともに利用していますので、高校生向けの難しそうな本ばかりだなと感じているかもしれませんね。高知西高校は、ここ数年、グローバル探究の授業に取り組んできましたので、国内の社会問題や時事問題に関連した本や、世界の国々の地理や文化に関連した本が多い傾向があります。また、英語科があるため、外国語学習や英語のリーダーズ（多読図書）が多い傾向にあります。これから6年間の学習を見据えると、今ある高知西高校の蔵書には、バカロレア教育やグローバル教育といったみなさんの学びに役立つ本がたくさんあると思います。ぜひ、映像やリアルタイムで手に入るインターネットからの情報だけでなく、図書館に足を運び、本から知識を得てもらいたいと思います。



図書館内の学習スペース

生徒会役員が決まりました

生徒会長 3-B 三上さん

副会長 2-A 谷口さん

2-B 西森さん

書記 2-A 木村さん

会計 3-A 平田さん

2-B 名和さん

前期役員の皆さん、お疲れ様でした。



令和2年度後期生徒会役員

県体速報

【水泳競技】岡谷さん 100m 自由形 第3位/50m 自由形 第3位

【サッカー部】2回戦 vs 土佐中学校 1-7

【バスケットボール部】2回戦 vs 介良中学校 27-82

【陸上競技】辻本さん 砲丸投 第1位 上岡さん 800m 第5位 金子さん 110mH 第6位



強豪校に健闘したサッカー部

SNS はじめました 総務・ICT 教育部

ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、高知国際中学校・高等学校の公式 Facebook と Twitter を立ち上げました。随時生徒の様子や学校の取り組みを紹介していきます。ぜひ覗いてみてください！

高知県立高知国際中学校・高等学校 公式 twitter <https://twitter.com/kochikokusai>

高知県立高知国際中学校・高等学校 公式 Facebook @kochikokusai



8月1日から8月25日まで

夏休みです。

充実した夏休みになりますように！



高知県立高知国際中学校

〒780-0852 高知県高知市鴨部2丁目5番70号

TEL:088-844-1221 FAX: 088-844-4823

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kokusai-jh/>

Email: kokusai-jh@kochinet.ed.jp

